

# ほくとわたしの ギャラリー

第80回記念県小・中・高校絵画展



小学生の部 特選

「父が働く港」

山本 鈴 (灘小学校5年)

中田市長や小松県漁連会長の立合いで、小磯富男組合長（丸山）と米岡清一組合長（阿那賀）が仮契約書に調印しました。

小磯組合長は「漁業環境は厳しさを増しており、合併を機に組合員の生活向上や漁協の経営基盤強化を目指したい」と、米岡組合長は「発展的合併に繋がるように努めたい」と熱く語られました。



▲阿那賀漁港

▼丸山漁港

## わかまち ふるさと資源

合併後は「南あわじ漁業協同組合」と名称を改め、正組合員百六十八人、タコや鯛、ワカメ、ノリ養殖などの水揚げは五億九千万

円となり、島内六番目の規模となります。また、海産物直売所の「魚彩館」や、四季折々の釣りが安全に楽しめる「丸山海釣り公園」の管理は、新漁協へ引き継がれます。

丸山漁業協同組合で行われた調印式には、両組合の関係者三十七人が出席。

中田市長や小松県漁連会長の立合いで、小磯富男組合長（丸山）と米岡清一組合長（阿那賀）が仮契約書に調印しました。



▲2漁協の合併仮調印式。左から中田市長、小磯組合長、米岡組合長、小松会長

## 丸山漁港・阿那賀漁港

2漁協が合併。4月に「南あわじ漁協」誕生

豊かな漁場である鳴門海峡に臨む、丸山漁業協同組合と阿那賀漁業協同組合では、四月一日の合併漁協の設立に向けて、十二月二十一日に合併仮調印式が行われました。

## わかまち 心気

伝統文化を楽しもう

淡路人形浄瑠璃は、現代の若者には、「昔のこと」「よくわからない」という感じを持つている人が多いのではないかと思いますが、物語の内容をよくよく考えてみると、現代人の想像を超えたような話が多々あります。



▲昨年、国民文化祭（徳島県）に出演

### 【市民へのメッセージ】

皆さん、淡路人形浄瑠璃を楽しみませんか？この素晴らしい文化を大切に、そして伝えてゆきましょう。

### 淡路人形浄瑠璃青年研究会

- ◆代表者 木田徹 (☎ 42-1437)
- ◆構成人員 20人
- ◆活動日 毎週金曜日（公演前は火、金）午後8時から、三原中学校人形練成場にて
- ◆受賞歴 平成19年度兵庫県ともしびの賞

淡路人形浄瑠璃青年研究会